

ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会

第21回 能登川 ふれあいフェア

テーマ：絆の輪を広げよう びわ湖から

10月13日(日) ふれあい運動公園 (参加者 約3万8千人)

■主催：能登川ふれあいフェア実行委員会 (事務局：コミセン)

■共催：東近江市 東近江市商工会能登川支部

9月の台風18号により、会場が流木やゴミ・汚泥で覆われる被害のため、一時は開催も危ぶまれましたが、関係諸機関ほか、ボランティアのみなさまの復旧活動により、無事に開催することができました。

当日は、抜けるような青空に恵まれ、会場は大賑わいでした。



第20回記念 無垢な魅力 能登川を歩くハイキング

あの感動を、もう一度！

湖国の大パノラマ 298° Final

11月4日(振替休日) (参加者 約110人)

■主催：東近江市商工会女性部能登川支部いきいき事業研究会

■協力：東近江市能登川博物館

東近江市埋蔵文化財センター

■協賛：東近江市観光協会

心地よい秋風がときおり吹く中、織山やその山裾を歩き、能登川の秋を満喫することができました。



伊庭御殿跡



第50回 能登川地区市民運動会 記念大会

10月6日(日) 能登川スポーツセンターグラウンド

(参加者 約4千人)

■主催：能登川地区体育協会 (事務局：コミセン)



能登川北学童保育所

いのこ山遠足

9月24日(運動会振替休校日)

絶好の遠足日和！秋の気配を感じながら、いのこ山の山頂目指してみんなで登りました。

途中、大きなカタツムリや巨大なナメクジに遭遇！！

午後からは下山し公園近くの小山で冒険遊びを楽しみました。

近くにこんなに自然を満喫できる場所があり、おもしろい一日でした。



NO. 40

発行日：平成 25 年 12 月 1 日

発行：一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会 広報事業部

〒521-1292 東近江市鉢光寺町262番地 東近江市能登川支所内

IP 電話 0505-802-2793 (平日午前中) FAX：0505-802-2793

E-mail：notomatikyo@e-omi.ne.jp

<http://members.e-omi.ne.jp/notomatikyo/>

備えあれば憂いなし。徘徊高齢者にやさしい街づくり

～ 認知症徘徊高齢者の早期発見・保護訓練の実施 ～

認知症高齢者数は現在 462 万人に上ると言われ、65 歳以上人口の15%を占めています。認知症の行動心理症状の一つに徘徊があります。能登川地域では徘徊による水難事故もあり「あの時声をかければ良かった、知らなかった」と反省される声も耳にします。しかし、ご家族が認知症であることを安心して「カミングアウト(公表)」するには、地域の認知症に対する偏見のない正しい理解が必要です。

そこで、「かじやの里の新兵衛さん」では平成21年から徘徊保護訓練の実施をとおして認知症の啓発を行っています。今年は9月28日(土)に開催し、18自治会総勢約450名の参加がありました。徘徊役や観察係などご協力いただいたかたがた、本当にありがとうございました。



今年初めて参加された垣見町の加藤正明さんからの感想をご紹介します。

重い腰がやっと立ち上がった垣見町は本年初めて参加をしました。情報を頭に叩き込み、それらしい徘徊役の人への声かけは実際にやってみないとわからないことばかりでした。「駅に行きたい」と言われる徘徊役の人に保護するための声かけが後回しになり、駅に案内しようとした失敗談もあります。その後、垣見の一日講の席で自然に訓練の話題が持ち上がり「やって良かった」との感を強く持ち、ぜひ来年も継続していきたいと思いました。

垣見町自治会は初参加で不安もあったようですが、来年への意気込みも感じられ嬉しい限りです。

訓練後、反省会(やわらぎホール、約200名)では、参加者から多くの気付きと来年への抱負を語っていただきました。講評の赤沼フサ枝先生は「地域でのもとのお付き合いが安心につながる。いつでもどこでも誰かが声をかけられるまちになって欲しい。会場の真剣な眼差しに能登川の住民の力を感じた。」とエールを送っていただきました。

認知症高齢者の早期発見・保護訓練は自治会の危機管理としても役立つはず。未経験のみなさまには、ぜひともチャレンジをしてみてください。

小規模多機能型施設 かじやの里の新兵衛さん
所長 南部直美

全国能面フェスティバル

能面作家 伊庭 貞一さんが大賞

能登川町の能面作家・伊庭貞一さんが大阪府豊中市で開催された全国能面フェスティバル・第7回島熊山能面祭で大賞「大槻文蔵賞」を受賞されました。

全国30都道府県から240点の応募があり、伊庭さんは中年の女面「深井」を出品。「まとまりがあり、色も良く、内面の表情がよく出た作品」と評価され、「これを機に、今後ますます精進に努めたい」と語っておられます。

現在は、自宅で月3回能面教室を開講し、能面文化の展開に努めており、また、能登川地区まちづくり協議会の「歴史文化事業部」で活動をし、能登川地区にも能楽文化が広まることに夢を膨らませています。



生ゴミ徹底活用術 段ボールコンポスト

※段ボールコンポスト

家庭から出る生ゴミをピートモスなどの基材とともに段ボール箱に入れ、その中で減量・堆肥化を行うものです。

12月16日(月)

生ゴミ堆肥づくり講座

生ゴミを捨てるのはもったいない！
資源を大切にする生活ははじめましょう。

臭いの少ない段ボール箱でつくる自家製堆肥は畑やプランターに安心して使えて台所のゴミ出しも半減。

あなたもぜひチャレンジしてください。

■時間：10:00～12:00

■場所：能登川コミュニティセンター

■参加申込方法 ※当日参加も可能です。

「お名前、自治会名、ご住所、電話番号」を能登川コミュニティセンター(電話 0748-42-3200 FAX 0748-42-3222)まで。

■主催：一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

■後援：東近江市廃棄物対策課

通常 1,200円を、
当日 500円で
販売します。

消火栓・格納箱の確認と避難訓練

— 能登川自治会 —

9月29日(日)午前8時に、各組ごとに指定された一次避難場所へ集合し、近辺の消火栓・格納箱の位置の確認をした後、自治会館グラウンド(本来は能登川西小学校)に移動しました。

各組長さんが、避難対策本部で安否確認の報告を行いました。そのあと、参加者261名(子ども48名)は、日赤奉仕団と女性防火クラブから「非常食ごはん」ハイゼックス包装食の作り方の指導を受けるとともに、かまどベンチを利用して米の炊き出しを行いました。



また、消防署の指導のもと自警団、消防団などが協力し「煙」のもくもく体験、水消火器による消火器の取り扱い訓練、消防士の服装をして消防車との記念撮影など、にぎやかに楽しいひとときを過ごしながら、防災に対する意識を高めていきました。



第10回 2013 Lighting Bell in NOTOGAWA

会場：林中央公園(能登川中学校横)

点灯期間：12月15日(日)～23日(月)祝日
17:30～22:00

点灯式：12月15日(日) 17:00～

飾り付けボランティアを募集 当日参加、大歓迎！

■日時：○11月16日(土)・17日(日)・23日(土)・24日(日)・30日(土)

○12月1日(日)・7日(土)・8日(日)・14日(土)

(時間 9:00～12:00、13:00～16:00)



主催：ライティングベル実行委員会

共催：一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

(お問い合わせ先：Tel 0505-802-2793 (平日の午前中))

まちづくりフォーラム 平成25年防災功労者防災担当大臣表彰受賞記念 能登川地区自主防災研修会

～ 滋賀県も安心してはいられない 台風18号を検証しましょう～

「その時あなたはどうしましたか？ いざという時何をすればよいのでしょうか？」

■日時：11月4日(振替休日) 14:00～16:00

■会場：能登川コミュニティセンター

■講師：山口大学大学院 准教授 瀧本 浩一 先生

■主催：一般社団法人能登川地区まちづくり協議会



小椋正清東近江市長のご挨拶の後、講演が始まりました。台風18号の襲来、台風26号の伊豆大島の被害などもあり、防災意識の高揚から、約60名の参加者は真剣に耳を傾けておられました。

講演では、「台風本体の危険性はもとより、台風を取り巻く気圧配置にも注意が必要で、台風通過前後にも被害が発生しており、今までの常識が崩れています。」と注意喚起されていました。

台風18号により、9月16日の早朝5:05に大雨特別警報が発令(同日11:30解除)され、直後に能登川地区でも避

難勧告が出された自治会もありました。

当まち協が管理するやわらぎホールが主な避難場所になり、避難された人に、おにぎり・お茶の差し入れを行いました。

9月17日には、ホームページやフェイスブック、社協のボランティア連絡網などで集まった約40名のボランティアさんが被災地域に入り復旧作業を行いました。

被災されたかたがたにはお見舞い申し上げますとともに、災害発生は人ごとではなく、防災に対する日ごろの準備の必要性を痛感させられました。



9月3日(火) 中央合同庁舎(東京)での表彰式

10月19日(土)、草津市笠縫東学区まちづくり協議会の15名が、能登川まち協の防災功労者防災担当大臣表彰受賞の報に接し、まち協活動の状況を掴もうと視察に訪れました。

また、11月28日(木)には、福井県若狭町政策推進課地域づくり室から30名が視察に来られます。

のとがわ コミセンだより

平成25年度 第7号
発行日：平成25年12月1日
発行：能登川コミュニティセンター
【電話】42-3200
【FAX】42-3222
【IP】0505-801-3200

第50回 能登川地区市民運動会 記念大会

10月6日(日)、東近江市能登川スポーツセンターグラウンドで、能登川地区市民運動会の第50回記念大会（主催：能登川地区体育協会・事務局：コミセン）を開催し、31自治会を含む約4000人のかたがたが参加されました。

当日は心配されていた天気にも恵まれ、のとな水車太鼓によるオープニングから始まりました。子どもたちのバトントワリングを先頭に、能登川中学校吹奏楽部の演奏で入場行進を復活させ、華々しく記念大会が開幕しました。

ご当地のゆるキャラ総勢10体による応援や、新競技の防災訓練安全安心競争、毎年盛り上がりを見せる自治会対抗600mリレーなど、地域が一体となり、例年以上に盛り上がった大会になりました。



防災訓練安全安心競争

【総合順位】	優勝：イーストロード	2位：垣見町	3位：長勝寺町
【自治会対抗リレー】	優勝：堀切	2位：桜ヶ丘	3位：イーストロード

能登川地区 第55回文化祭 開催

能登川地区第55回文化祭（主催：能登川地区文化祭実行委員会・事務局：コミセン）が、能登川コミュニティセンターで開催されました。

10月28日(月)から始まった菊花展を皮切りに、11月1日(金)は前夜祭『ダンスパーティのゆうべ』が開催され、紳士・淑女約100名が華麗なステップを披露されました。

翌2日(土)は、能登川史談会による歴史講話、午後からは青少年育成大会が開催され、多くの人に来場いただきました。

3日(祝)には、午後から芸能発表会が行われ、今年是一般参加2団体を含む20団体が参加しました。吹奏楽、日本舞踊、唄、詩吟、マジック、ダンス、太極拳、和太鼓など多彩な発表に、会場が一体となり盛り上がりしました。

また、2日(土)・3日(祝)は、能登川南小学校体育館を会場に、絵画・能面・生け花・写真・くみひもなど、各サークルのみなさんが日ごろの成果を披露され、作品の制作過程を熱心に聞いておられる見学者も多くいらっしゃいました。



能登川地区青少年育成大会
講師：込山弘子氏



カルチャーハウスA & I (キッズダンス)



作品展示（能登川南小学校体育館）